

情報セキュリティ方針

ROCKY-ICHIMARU は、情報資産をはじめとする全ての経営資産の保護と適切な安全管理が、企業としての社会的責務であると認識しています。この情報セキュリティ方針に基づき、全ての従業員などが情報セキュリティの重要性を理解し、情報資産を適切に管理することで、顧客および社会全体からの信頼を獲得し、更なる技術向上と継続的な適正管理に努めます。

適用範囲

- ROCKY-ICHIMARU グループの全ての組織、役員および全ての従業員など
- 顧客から預託された全ての情報資産と、グループ企業を含めた全ての情報資産

情報セキュリティへの取り組み

1 法令遵守と規範の順守

情報セキュリティに関する法令、規範、契約事項を遵守し、情報資産の漏洩、滅失、毀損などのリスクを低減します。

2 情報セキュリティ管理体制の構築

情報セキュリティの管理組織として情報システム委員会を設置し、情報セキュリティに関する意思決定、実行、監査等の役割を明確化します。

3 情報セキュリティ規程・ルールの整備

情報セキュリティ管理規程およびルールを整備し、定期的に見直しを実施することで、法令改正、技術変化、新たな脅威などに対応します。

4 セキュリティ教育・訓練の実施

全ての従業員などに対し、情報セキュリティに関する教育・訓練を継続的に実施し、情報資産の適切な管理と情報セキュリティへの意識向上を図ります。

5 内部監査と情報セキュリティ監査の実施

内部監査室および情報システム委員会を通じて、情報セキュリティ管理規程の遵守状況とセキュリティ水準を定期的に点検・監査し、継続的な改善に努めます。

6 セキュリティ事故発生時の対応

万一、セキュリティ事故が発生した場合は、速やかに原因究明を行い、被害拡大の防止に努めます。また、再発防止策を含む適切な対策を速やかに実施します。

制定 2023年1月16日
改訂 2025年3月21日

株式会社 ROCKY-ICHIMARU
代表取締役社長 市丸寛展